

IBM Visual Insights

本「サービス記述書」は「クラウド・サービス」について規定するものです。適用できる注文関連文書には、お客様の発注に関する価格設定および追加的な詳細情報が記載されています。

1. クラウド・サービス

1.1 オファリング

お客様は、利用可能な以下のオファリングから選択することができます。

1.1.1 IBM Visual Insights

IBM Visual Insights は、製品、または部品の画像の中の異なる出力、あるいは欠陥クラスを認識し、あるいは物体を検出するために学習するために、ディープ・ラーニングの分類、あるいは物体検知のモデルを作成するために、人工知能の能力を利用します。そして、学習、テスト、検証、物理エッジまたは仮想エッジへの導入、およびバージョン管理を通じて、当該モデルのライフサイクルを管理します。お客様は、取り込まれる画像のスコアリングのために、「クラウド」の仮想エッジでオプションのスコアリング・サービスを購入することができます。このサービスでは、モデルをゼロから構築できるだけでなく、テンプレートとして使用できるスターター・モデルのカタログが提供されます。モデル作成、ライフサイクル管理、検査結果モニタリング、フィードバック、および KPI ダッシュボード・ビューに対応した役割ベースのユーザー・インターフェースも提供されます。このサービスでは、既存のお客様システムと統合したり、お客様固有の新規ユーザー・インターフェースを構築したりするための API が公開されます。

1.1.2 IBM Visual Insights Training

Visual Insights Training サービスにより、ユーザーは、アップロードされた画像を用いて IBM Visual Insights 内で作成された分類または物体検知のモデルの学習を受けることができます。Visual Insights サービスでモデルの学習または再学習を実行するために使用される「アイテム (画像)」の数は、毎月末日に算出され、使用量に応じてサービスの料金のお客様に請求されます。

1.2 オプション・サービス

1.2.1 IBM Visual Insights Scoring

お客様は、この「クラウド」でオプションのスコアリング・サービスを申し込むことができます。「クラウド」の IBM Visual Insights Center で学習されたモデルを、そのようなオプションのエッジに導入でき、画像を当該エッジにスコアリングのために送信できます。スコアリングの結果は、「クラウド」において Visual Insights ソリューションで監視およびレビューできます。

2. データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート

IBM のデータ処理補足契約書 (<http://ibm.com/dpa> に公開。「DPA」) のほか、下記リンクの「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(データ・シートまたは「DPA 別表」) にも、「クラウド・サービス」およびそのオプション (処理対象の「コンテンツ」の種類、発生する処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却についての仕様書に関連) に関する追加的なデータ保護情報が記載されています。EU 一般データ保護規則 (EU/2016/679) (GDPR) が「コンテンツ」に含まれる個人データに適用される場合に、その適用範囲に限り、DPA が適用されます。

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=01736770044E11E7982D0C38141F4056>

3. サービス・レベルおよびテクニカル・サポート

3.1 サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント (以下「SLA」といいます。) をお客様に提供します。IBM は、下表のとおり、「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。「可用性」は、契約月における分単位の総時間数から、契約月における「サービス・ダウン」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。「サービス・ダウン」の定義、請求のプロセス、サービスの可用性の問題に関して IBM に連絡する方法については、IBM の「クラウド・サービス」のサポート・ハンドブック (https://www.ibm.com/software/support/saas_support_overview.html) に掲載されています。

可用性	クレジット (月額サブスクリプション料金のパーセント*)
99.9% 未満	2%
99.0% 未満	5%
95.0% 未満	10%

*サブスクリプション料金は、請求対象月に関して約定した料金です。

3.2 テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」のテクニカル・サポート (サポート窓口の連絡先情報、重大度レベル、サポート利用可能時間、応答時間、その他のサポート情報およびサポート・プロセスなど) を参照するには、IBM サポート・ガイド (<https://www.ibm.com/support/home/pages/support-guide/>) の「クラウド・サービス」を選択します。

4. 料金

4.1 課金単位

「クラウド・サービス」の課金単位は、「取引文書」に記載されます。

以下の課金単位が本「クラウド・サービス」に適用されます。

- 「インスタンス」は、「クラウド・サービス」の特定の構成への各アクセスを意味します。
- 「アイテム」とは、「クラウド・サービス」の利用により管理、処理される、または「クラウド・サービス」の利用に関連する特定のアイテムが 1 回発生することをいいます。

5. 追加条件

2019 年 1 月 1 日より前に締結されるクラウド・サービス契約 (または同等のクラウド基本契約) については、<https://www.ibm.com/acs> に掲載されている条件を適用します。

5.1 使用制限

定義:

「クラウド・サービス作成物」とは「クラウド・サービス」ユーザー・ガイドの「クラウド・サービス作成物」リストに記載される作成物をいいます。「クラウド・サービス作成物」は事前に定義され、事前に構成されたさまざまな資料で、畳み込みニューラル・ネットワーク、予測モデル、ビジネス・ルール、メッセージ・フロー、ビジネス・インテリジェンス・モデル、レポート、アクティブ・レポート、ダッシュボード、マスター・データ管理モデル構造、データ・スキーマを含みますが、これらに限定されません。

お客様は、「クラウド・サービス」を使用して、「クラウド・サービス作成物」を変更するか、または「クラウド・サービス作成物」を新規作成することができます (以下総称して「カスタマイズされたクラウド・サービス作成物」といいます。)

「クラウド・サービス作成物」および「カスタマイズされたクラウド・サービス作成物」は、本「クラウド・サービス」と別個に使用することはできません。

IBM のテクニカル・サポートは、「クラウド・サービス作成物」に対して提供されますが、「カスタマイズされたクラウド・サービス作成物」については提供されません。前記にかかわらず、「クラウド・サービス作成物」および「カスタマイズされたクラウド・サービス作成物」は「現状」のまま提供され、権原の保証、第三者の権利の不侵害の保証、特許権の不侵害の保証、ならびに商品性および特定目的適合性に関する黙示の保証を含む、明示または黙示のいかなる保証もされません。

独自の判断を行使する代わりに、「クラウド・サービス」およびその「アウトプット」に依拠しないものとします。

「クラウド・サービス」により特定される留意事項は推奨目的であって、お客様または「クラウド・サービス」のユーザーの専門家としての判断に代わるものではありません。「クラウド・サービス」のユーザー自身の経験に基づいて、考慮に入れるべき一連の対策が、「クラウド・サービス」で特定されたもの以外に存在する場合があります。

「クラウド・サービス」は、自らの職務の範囲内で行動する適格な要員を支援するためにのみ使用します。またこうした要員のみが「クラウド・サービス」の利用を許可されます。

「クラウド・サービス」には、推奨される各オプションに関連する代替オプションに関する情報は含まれません。こうしたオプションは包括的なプランの重要な構成要素であり、判断を下す際に慎重に検討する必要があります。